

インフラの 町医者

全9回の4
をめぐって

第8回建設トップランナーフォーラムより



阿部社長

地域密着だからこそ可能

本建設技術(佐賀県)の原裕氏、「環境・エネルギーへの展開」と題して中村建設(静岡県)の伊藤直樹氏と阿部正雄氏が事例発表した。

セントラル建設(岐阜県恵那市)の阿部伸一郎社長は、「地域密着」の共通点を持つ建設と介護を複業化して新たな需要を創出する

日本建設技術(佐賀県唐津市)の原裕社長は、日本水大賞の未来開拓賞を受賞した「ミラクルソルを用いた水質浄化技術」を報告する

原社長は、廃ガラスを再利用した多目的環境材料「ミラクルソル」で有明海の干潟底質改善に取り組んだ

中村建設(静岡県浜松市)の伊藤直樹氏と阿部正雄氏は、ことし9月の稼働を目指して建設中の「地域密着型太陽光発電施設」について発表した。

同社は、市のメガソーラー発電事業コンペに応募し、地域活性化策が高い評価を受け事業者に選定された。

また、地元(町おこし)NPO法人に参加するなど、地域一体でまちの活性化に取り組む。「地方建設記者の会」取材班

が生まれ、オール電化などの大きなリフォーム工事の受注につながる。さらに、要介護者が亡くなった後の家屋の管理や敷地の手入れ・売却など、介護と建設の相乗効果によって

新たな需要も生まれ続けているという。阿部社長は、これらの事業について「地域に密着している企業だからこそできる」と主張し、全国の地域建設企業にこのビジネスモデルの導入を支援する事業にも着手。既に8県11社で導入を支援している。

件によって比重や吸水性能の調節が可能。建設分野、水質浄化などの環境分野で活用されている。

佐北部中学校跡地に出方750キロワットの発電施設を設置。「学び、遊び、楽しむ」をテーマに、見学スペースや散歩道、遊具、バイオトイレなどを設け、施設全体を

「エネルギーパーク」として整備する計画を説明した。この地域活性化事業には、非常用電源の無償提供や緊急ヘリコプター着陸スペース整備、防災倉庫設置などの防災活動や、住民・小中学生を対象とした見学会、「ソーラー文庫」創設などの環境教育も柱の一つとなっていることを紹介した。

また、地元(町おこし)NPO法人に参加するなど、地域一体でまちの活性化に取り組む。「地方建設記者の会」取材班

第1部「連携が新しい価値を生む」では、「建設と介護の複業化」と題してセントラル建設(岐阜県)の阿部伸一郎氏、「有明海の干潟底質改善技術でのミラクルソルの有効性」と題して日

本建設技術(佐賀県)の原裕氏、「環境・エネルギーへの展開」と題して中村建設(静岡県)の伊藤直樹氏と阿部正雄氏が事例発表した。

セントラル建設(岐阜県恵那市)の阿部伸一郎社長は、「地域密着」の共通点を持つ建設と介護を複業化して新たな需要を創出する

日本建設技術(佐賀県唐津市)の原裕社長は、日本水大賞の未来開拓賞を受賞した「ミラクルソルを用いた水質浄化技術」を報告する

原社長は、廃ガラスを再利用した多目的環境材料「ミラクルソル」で有明海の干潟底質改善に取り組んだ

中村建設(静岡県浜松市)の伊藤直樹氏と阿部正雄氏は、ことし9月の稼働を目指して建設中の「地域密着型太陽光発電施設」について発表した。

同社は、市のメガソーラー発電事業コンペに応募し、地域活性化策が高い評価を受け事業者に選定された。

また、地元(町おこし)NPO法人に参加するなど、地域一体でまちの活性化に取り組む。「地方建設記者の会」取材班



原社長

壁を乗り越え新分野進出



伊藤氏

地域一体でまちを活性化

不可能ではない」と述べ、今後も新素材の研究開発を進め、開発製品を利用した工法を提案していく意気込みを語った。

「ミラクルソルは、無数の微細な気孔を有し、製造条件によって比重や吸水性能の調節が可能。建設分野、水質浄化などの環境分野で活用されている。」

また、地元(町おこし)NPO法人に参加するなど、地域一体でまちの活性化に取り組む。「地方建設記者の会」取材班